

## 「声の広報」の制作

### 取り組みの概要

昭和53年7月より視覚障害者などを対象に、市政の周知や理解を図るため、広報紙「広報おびひろ」をカセットテープに吹き込み、社会福祉法人ほくてんがCD-RWに複製し、「声の広報」を発行、利用希望者に届けています。平成10年10月からは「声の広報」を音訳サークル「なすの会」の協力により吹き込みを開始しました。

#### 協働の きっかけ

当初、視覚障害者などに必要と考えられる情報を広報紙から抜粋し、声の広報として作成していました。しかし、「その情報は、受け取り側の選択肢を制限している。本来、広報紙の内容をそのまま提供することが望ましい」という音訳ボランティアからの指摘を受けて見直しを検討しました。現在は音訳ボランティアとの協働の取り組みにより、広報紙情報を極力制限せずに情報提供することを実現し、視覚障害者の市政理解の促進に努めています。

#### 広報広聴課

- ・視覚障害者への情報提供ができる

- ・読み原稿作成・留意点指示
- ・録音の校正・検収



#### 音訳サークル なすの会

- ・ボランティアの自己研鑽と活動の拡大
- ・行政との協働への取り組みから会への信頼が高まる

- ・録音・校正
- ・マスターテープの編集作成・テープ納品

強み

役割

#### 協働の 成果

現在は、なすの会の会員のご協力により「声の広報」制作業務は円滑に行われているとともに、行政との協働への取り組みから会への信頼が高まり、双方にとって効果的な取り組みにつながっています。

### 協働のポイント

なすの会会員の技術の継承と人材育成のほか、音訳に対する行政への要望などを把握することが必要です。

